

平成 21 年 4 月 6 日現在

研究種目：基盤研究（C）  
 研究期間：2006～2009  
 課題番号：18500756  
 研究課題名（和文） アメリカ生命倫理学の黎明期における歴史的・社会的背景についての包括的研究  
 研究課題名（英文） A Comprehensive study on historical & social background of the first period of the establishment of American bioethics  
 研究代表者  
 金森 修（KANAMORI Osamu）  
 東京大学・大学院教育学研究科・教授  
 研究者番号：90192541

研究分野： 総合領域  
 科研費の分科・細目： 科学社会学・科学技術史  
 キーワード： 生命倫理 生政治 生権力 ビオス

## 1. 研究計画の概要

アメリカの1960-70年代の生命倫理学成立期の文化的背景の分析

## 2. 研究の進捗状況

この3年の研究で、そのままでは壁にぶつかるといふ認識があり、少し研究計画をずらすことにする。そして、同時代に並行的に存在し始めていた生権力論の展開の方に焦点を当てることにした。

## 3. 現在までの達成度

そもそもの研究計画はほぼ完遂したが、そのままではあまり興味深くないという認識にいたり、上記のように方向転換を始めている。

## 4. 今後の研究の推進方策

最終年度は、生権力論、生政治論の展開と、その生命倫理学的意味への研究に焦点を絞る。

## 5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

## 〔雑誌論文〕（計 1 件）

「認識の非自然性を頌えて」、岩波講座哲学第4巻『知識/情報の哲学』岩波書店、2008、pp.57-76（査読無しの依頼論文）

## 〔学会発表〕（計 1 件）

Osamu Kanamori, « Autour de la question de Bios et de Zoe », Autour du corps humain, Bioethique comparee France Japon, Centre Georges Canguilhem, Paris, 9 sep. 2008.

## 〔図書〕（計 1 件）

金森修編著『エビステモロジーの現在』慶應義塾大学出版会、2008、1-500頁

## 〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

取得状況（計 0 件）

## 〔その他〕